

講義シラバス

科目名	プロ道	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	15 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	吉本 友美	講師 プロフィール	美容師、アイリストをを経験後、本校の美容師科美容師国家試験対策へ携わる。美容師科での勤務後、今年度HM科担当となる。						
【授業を通じての到達目標】									
○クラス目標、個人目標の達成 ○業界から求められる人材育成(主体性を養う)									
【学習内容】									
○クラス目標、個人目標の振り返り(必要があれば再設定) ○業界から求められる人材育成するための業界講話									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (4/19)	オリエンテーション～クラス目標設定(グループワーク)、シラバス、学年歴、授業日程確認、プロ道ファイル作成				⑨ (6/21)	ゴミ拾い現場について(HMの現場)			
② (4/26)	サポートアンケート、個人目標確認、開校からの振り返り				⑩ (6/28)	現場について(HMの現場)、業界講話			
③ (5/10)	GW明け宿題発表、次回ゼミリサーチ、個人目標振り返り、就職講座(アンケート)				⑪ (7/5)	苦手克服プログラム、就職アンケート			
④ (5/17)	就職講座(各職種について)、GW宿題順位発表、オンライン週間について、ゼミについて				⑫ (7/11)	夏休みの過ごし方、目標確認、達成度の確認、フォトブックについて			
⑤ (5/24)	オンライン授業(就職講座リサーチ編)、面談				⑬ (8/23)	フォトブックの発表、目標確認、就職アンケート			
⑥ (5/31)	就職講座				⑭ (8/30)	定期試験について			
⑦ (6/7)	就職アンケート、お金の管理				⑮ (9/6)	定期試験			
⑧ (6/14)	現場について(人間力の学び)				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
小テスト 1～12→3点、13、14→2点									

講義シラバス

科目名	ベーシックヘア I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	岸田 知紘	講師 プロフィール	札幌ビューティーメイク専門学校卒業。美容師免許取得。卒業後、(株)田谷に入社。経験を経てヘアセットの世界へ。ヘアセット歴15年。「hairmakestudio jewel」のサロンスタッフとして勤務しつつ、フリーランスのヘアメイク、講師として活動の幅を広げています。						
【授業を通じての到達目標】									
ピンの使い方、一束の仕方など、ヘアセットの基礎を学ぶ。シニヨン・夜会巻き・面のスタイルや編み込みなどの習得。									
【学習内容】									
基礎を知る。技術は反復により一層の理解を深める。【出来る】【わかる】が自信に繋がりに向上心へと繋がる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
セットウィッグ・クランプ・ホットカーラー・ロールブラシ・タッカー・ピン類 黒ゴム・ゴムを切るハサミ・ハードスプレー・ドライヤー・水スプレー ヘアアイロン・テールコーム									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/18) (4/19)	【到達目標】 【道具の名前を知り、デモンストレーションで使い方を見る】 自己紹介・デモンストレーション・道具の説明・道具の使い方・ブ ロッキング・一束				⑨ (6/20)	【到達目標】 【メイクとコラボ授業】のための練習日 (小テスト3点) 一年生合同授業(3.4コマ)			
② (4/25) (4/26)	【到達目標】 【ホットカーラーの理論とコームの使い方がわかる】 (小テスト3点) コームの使い方・ホットカーラーの説明・巻き方と実践 一束(相モデル)				⑩ (6/27)	【メイクとコラボ授業】 (小テスト3点) テーマに合ったヘアメイクを相モデルで完成させる			
③ (5/9) (5/10)	【到達目標】 【全頭巻きの配置がわかる。ピン打ちの理論が分かる】 (小テスト3点) 全頭巻き・ピンの説明・ピンの理論・実践				⑪ (7/11) (7/12)	【到達目標】 【逆毛の意味を理解し、やり方がわかるようになる】 (小テスト3点) 全頭巻き・逆毛の理論・やり方・実践・逆毛を使ったスタイル (ボンパドール・ハーフアップ)			
④ (5/16) (5/17)	【到達目標】 【ピン打ち・シニヨンが出来るようになる。】(小テスト3点) 全頭巻き・シニヨンを作る・オニピンの説明、使い方				⑫ (7/11) (7/12)	【夜会巻きの作り方がわかるようになる】(小テスト3点) 夜会巻きの歴史・デモンストレーション・すき毛の説明・扱 い方・実践			
⑤ (5/23) (5/24)	【到達目標】 【オンライン授業】 【ゴム・ピンでスタイルが出来るようになる】(小テスト3点) 全頭巻き・シニヨン応用				⑬ (8/22) (8/23)	定期試験練習 (小テスト3点)			
⑥ (5/30) (5/31)	【到達目標】 【ヘアアイロンの使い方巻き方が理解できるようになる。】 (小テスト3点) 全頭巻き・ヘアアイロンの説明、実践・ピン打ち				⑭ (8/29) (8/30)	【到達目標】 定期試験練習 (小テスト3) ウィッグの洗い方			
⑦ (6/6) (6/7)	【到達目標】 【ヘアアイロンの巻き方の違いが分かるようになる】 【様々な編み込みが出来るようになる】(小テスト3点) 全頭巻き・ヘアアイロン巻き・編み込み				⑮ (9/5) (9/6)	【定期試験】60 定期試験 60点			
⑧ (6/13) (6/14)	【到達目標】 【基本の編み込みが出来るようになる】(小テスト3点) 全頭巻き・巻きと編み込みを使ったヘアアレンジ				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ベーシックメイク I	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生		
講師名	松丸 亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。CM撮影・広告・ブライダル・撮影なども行っている。						

【授業を通じての到達目標】

ヘアメイクアーティストとして時代の変化や流行に敏感になることなることでメイクの知識・技術・提案力を身につけ自分自身のセンスを磨く

【学習内容】

基礎をしっかりと身につけた後応用技術を学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式・筆記道具・ノート

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/18)	【到達目標】小テスト2点 メイクの仕上がりを左右する保湿・マッサージが出来るようになる	⑨ (6/20)	【到達目標】小テスト4点 ヘアセット岸田先生とのコラボ授業【1.2組合同3.4時限目】
② (4/25)	【到達目標】小テスト2点 ベースメイクアイテムを使い、肌の質感・立体感・お悩みカバーを意識したベースメイクが出来るようになる	⑩ (6/27)	小テスト3点 ヘアセット岸田先生とのコラボ授業【1.2組合同3.4時限目】
③ (5/9)	【到達目標】小テスト2点 西村先生によるパーソナルカラー授業	⑪ (7/4)	【到達目標】小テスト3点 リップ・チーク(チークののせ方・リップののせ方)
④ (5/16)	【到達目標】小テスト2点 アイシャドウ・ビューラー・マスカラ・アイラインの基本的な使い方	⑫ (7/11)	【到達目標】小テスト3点 クール顔メイクの理論を知りメイクが出来るようになる
⑤ (5/23)	【到達目標】小テスト2点 オンライン授業～自分に合ったメイクをし発表	⑬ (8/22)	【到達目標】小テスト3点 キュート顔メイクの理論を知りメイクが出来るようになる
⑥ (5/30)	【到達目標】小テスト3点 相モデルで印象的なアイメイクが出来るようになる	⑭ (8/29)	【到達目標】小テスト4点 相モデルに似合うメイクを時間内に仕上げる
⑦ (6/6)	【到達目標】小テスト4点 眉メイク～毛質によってアイテムを使い分け綺麗な眉メイクが出来るようになる	⑮ (9/5)	【定期試験】60点 テーマに沿って相モデルに似合うメイクを時間内で仕上げる
⑧ (6/13)	【到達目標】小テスト3点 眉メイク～ソフトな印象の眉とキリッとした印象の眉の違いを知ろう	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

自己管理が出来るよう指導する。忘れ物の管理において準備不十分の者は小テストよりマイナスとする

講義シラバス

科目名	ベーシックファッション	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生		
講師名	畑 育実	講師 プロフィール	有限会社ダディックファッション代表。主にCM、タレントなどのスタイリスト&ヘアメイク & ファッションデザイナーとして活動し、美の総合プロデュースを行うイメージカウンセラーでもある						
【授業を通じての到達目標】									
ファッション業界におけるヘアメイクとファッションのつながりを理解し、習得したファッションの基礎知識をトータルバランスへ活用出来るようになる。プロフェッショナルな業界人を目指しモチベーションを高めることが出来る									
【学習内容】									
ファッションの基礎知識(トレンド感性、アイテム名称、シルエットライン、ディティールなど)の基本を習得し、ヘアー、ネイル、ファッションとトータルバランスの活用方法をグループワークで協調性をもって取り組む									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
DVD視聴					グループワーク時の事前の準備				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】 オリエンテーション。今後の授業内容の確認、自己紹介、ファッション業界について。業界人としての必要な知識を習得し今後どのように取り組んでいくのが明確な計画と目標を持つことができる				⑨ (6 /14)	【到達目標】 白いTシャツを活用したファッションコーディネート提案 柔軟な発想と積極性で時代のインフルエンサーとしてのあり方、役割を理解することが出来る。翌週のGPW			
② (4/26)	【到達目標】 ファッションチェックのポイントと美点凝視について学習する。ファッションチェック、美点凝視を通して、他者の良いところを見つけるプロとなる				⑩ (6 /28)	【到達目標】 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネート提案① 情報収集と分析を元に、求められた課題に説得力のある提案が出来るようになる 課題適応能力を養う			
③ (5 /10)	【到達目標】 トレンドの流れと世界5大コレクションについて、DVD視聴と解説。流行とは何か、世界5大コレクションを学び、ファッションの業界と社会がどのような関わりを持つのか理解できるようにする				⑪ (7 /5)	【到達目標】 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネート提案② 情報収集と分析を元に、求められた課題に説得力のある提案が出来るようになる 課題適応能力を養う			
④ (5 /17)	【到達目標】 ファッションコーディネート方法と提案(骨格、視覚効果について) 体型の骨格の違いと、錯視効果を取り入れたコーディネート方法を学び、他者のその人らしさのあるコーディネート提案ができるようになる				⑫ (7 /12)	【到達目標】 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネート提案 情報収集と分析を元に、求められた課題に説得力のある提案が出来るようになる ボーディングを考え、バックスクリーン前で撮影			
⑤ (5/24)	【到達目標】 TPO、トレンド感性、体型カバーのコーディネートテクニックを学ぶ。業界人として必要な基礎知識を学び、どのようなテクニック方法があるか、情報収集し、共有することができる				⑬ (8 /23)	【到達目標】 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネート提案③ 情報収集と分析を元に、求められた課題に説得力のある提案が出来るようになる ボーディングを考え、バックスクリーン前で撮影			
⑥ (5/30)	【到達目標】 条件別のファッションコーディネートGPワークし提案、発表。指定された条件に合うコーディネート方法をGPワークし積極性、協調性、集中力をもって提案することができるようになる				⑭ (8 /30)	【到達目標】 春夏トレンドテーマに合わせたファッションコーディネート提案④ 情報収集と分析を元に、求められた課題に説得力のある提案が出来るようになる ボーディングを考え、バックスクリーン前で撮影			
⑦ (6/7)	【到達目標】 SDZsの開発、取り組みにおいて業界で今後期待したい企画立案。情報収集、分析力をもって積極的に取り組み、発信力のある提案ができるようになる				⑮ (9 /6)	【定期試験】60 トータルファッションコーディネートヘアメイク&ネイルも施し、発表する(相モデル) 授業で習得した知識、技法を活かした成果を100%の力で発揮することができる。			
⑧ (6/14)	【到達目標】 ファッションコーディネートの着回し方法の基本(テスト別)を知り、幅広いニーズに提案出来るようになる 指定されたアイテムを使用した着回しの提案をグループワーク				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
多様性の理解と協議力を身につけ、常に学び意欲を持って積極的に取り組むこと									

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラム	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック専門学校を卒業し、美容、ブライダル会社にてコーディネーターヘアメイクとして勤務。現在、フリーランスのヘアメイク。						

【授業を通じての到達目標】

自己分析をして自分の強み、将来のビジョンを明確にしていく。

現場実習に備えて、クライアントやお客様に対するマナー、技術を身につける。

【学習内容】

アシスタントとして必要な知識や技術、マインドを身につける。

【使用教科書・教材・参考図書】

ヘアメイク道具一式、筆記用具

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/21)	【到達目標】 筆記用具 自己紹介、自分の将来についてイメージする 自己紹介シート記入、発表	⑨ (6/23)	【到達目標】 ヘア道具、ネイル（ポリッシュ、除光液用意）、相モデル 3人1組で1人がヘアしている中でアシスタントとしてネイルができるようになる。
② (4/28)	【到達目標】 筆記用具 それぞれの現場にあわせたアシスタントの動きや身だしなみについて理解する 実際の現場で使われている言葉や、ヘアメイクの現場について理解する	⑩ (6/30)	【到達目標】 ヘアメイク道具一式 ブライダルの現場を想定したヘアメイクができるようになる（かざりをつけるようになる）
③ (5/12)	【到達目標】 筆記用具 それぞれの現場にあわせたアシスタントの動きや身だしなみについて理解する 身だしなみを中心に考える。アシスタントにはいるときの持ち物。	⑪ (7/7)	【到達目標】 ヘアメイク道具一式 ブライダルの現場を想定したヘアメイクができるようになる（かざりをつけるようになる）
④ (5/19)	【到達目標】 筆記用具 現場でのマナーについて考える。 気遣いとはなにかを中心に考える。印象の良いアシスタントとは？	⑫ (7/14)	【到達目標】 メイク道具一式 現場を想定したアシスタントワークの実践（メイク中心） ベースメイク、手直しができるようになる
⑤ (5/26)	【到達目標】 ヘア道具、ウイック <オンライン授業> ヘアセットのバリエーションをふやす（簡単にできるヘアセットを覚える）	⑬ (8/25)	【到達目標】 メイク道具一式 現場を想定したアシスタントワークの実践（メイク中心） リップメイク、手直しができるようになる
⑥ (6/2)	【到達目標】 ヘア道具、ウイック 現場を想定したアシスタントワークの実践。（ヘア中心） ピンうちのアシスタントができるようになる	⑭ (9/1)	【到達目標】 筆記用具 自分の強みについて考える（グループワーク） ハキハキと元気にアシスタントらしくふるまえるようになる。（定期試験準備）
⑦ (6/9)	【到達目標】 ヘア道具、ウイック 現場を想定したアシスタントワークの実践。（ヘア中心） 先週学んだことを実践しヘアセットをする	⑮ (9/8)	【定期試験】 60 1分間スピーチ、みんなの前で発表 人前でしっかりと話せるようになる
⑧ (6/16)	【到達目標】 現場を想定したアシスタントワークの実践。（前髪、後れ毛中心）	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点） E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格） ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

*学校の企画や、イベントにより授業内容変わりますのでしっかりと内容確認してください。

講義シラバス

科目名	メイクテクニック	必修 選択の別	必修	開講 区分	1S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	アトリエ/箱石・宍戸	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが14名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
基礎のメイクの仕方と接客マナーの大切さを学び、JESCメイク検定が合格出来るようになる									
【学習内容】									
接客マナーを意識し、JESC検定に基づき、ナチュラルメイクを30分以内で仕上げる事が出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、テキスト、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/17)	【到達目標】小テスト2点 道具の名称とケア方法、身だしなみ、セッティングまで出来るようになる (P5～9、40、72)				⑨ (6/19)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(35分) 筆記模試			
② (4/24)	【到達目標】小テスト2点 セッティング、身だしなみを再確認し、パウダーまでを相モデルで出来るようになる (P10～21、73～75)				⑩ (6/26)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(目標30分) 筆記模試			
③ (5/8)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からアイメイクまでを相モデルで出来るようになる (P26～31)				⑪ (7/3)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
④ (5/15)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からアイブロウまでを相モデルで出来るようになる (P22～25)				⑫ (7/10)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試(夏休み前)			
⑤ (5/22)	【到達目標】小テスト2点 事前準備からチーク・リップまでを相モデルで出来るようになる (P32～39)				⑬ (8/21)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試(夏休み明け)			
⑥ (5/29)	【到達目標】小テスト2点 接客を意識し、事前準備からリップまで相モデルで出来るようになる				⑭ (8/28)	【到達目標】小テスト3点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
⑦ (6/5)	【到達目標】小テスト2点 接客を意識し、事前準備からリップまで相モデルで出来るようになる タイムを計る(40分目標)				⑮ (9/4)	【定期試験】60点 事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(30分) 筆記模試			
⑧ (6/12)	【到達目標】小テスト10点 【中間チェック】事前準備からリップまでを相モデルで出来るようになる(40分) 筆記模試				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									